

## 2025年度 経済・経営学会学生研究助成 報告書

2025年10月23日

経済学部准教授 神野圭介

団体名：経済学部・神野ゼミ

研究課題：テクノロジーとこれからの社会を考える

訪問先：大阪・関西万博（大阪市内宿泊）

実施期間：2025年8月6日（水）～7日（木）

対象学生：専門ゼミ所属学生 35名

引率教員：神野圭介

本プロジェクトに向けて、専門ゼミの中で役割分担を決め、関連情報をリサーチするなど、全員で事前準備を行いました。大阪・関西万博では、学生は7グループに分かれ、それぞれが事前に予約できたパビリオンを中心に見学し、様々な産業分野で生じているテクノロジーの進化を実感するとともに、展示に欠けている視点にも目を向けることで、これからの経済社会の課題や解決策を考察し

ました。例えば「大阪ヘルスケア」では、培養肉の展示で未来の食の可能性を感じるとともに、家畜生産と気候変動・食糧危機などのかかわりといった持続可能な社会に向けた現実的課題についても考察しました。また「未来の都市」では、AI やロボットの力を利用して社会課題を解決していける可能性を感じるとともに、雇用・所得・物価など現実の経済問題の多くがこれまで技術革新だけでは解決できなかった点についても考えました。海外パビリオン（コモンズ）では、各国の特産品や文化にふれることができましたが、経済格差や戦争などが多文化共生に影を落としている現状についても考えました。万博については、入場者数が何より優先されていたことで、事前の抽選が厳しく、当日も待ち列が長すぎたりして、希望していたパビリオンの多くに入れなかったことは残念でした。参加した学生の中では、現地で見たり感じたことと、大学で学んでいる理論や歴史を、どう結びつけるかというのが大きなテーマになったと思います。現在、経済学部ゼミナール・レポートフェスティバルでの報告に向けて、食に関する研究やテクノロジーの社会的影響についての研究などに取り組んでいます。このように、この合宿で学んだ視点は、専門ゼミの中でグループ研究に様々な形で活かされていることから、本プロジェクトは実りの多い体験になったと考えます。

経済・経営学会のご支援に、心より感謝いたします。